
バカとテストと殺戮の痛み

ネガ・ナハト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストと殺戮の痛み

【Nコード】

N5787Y

【作者名】

ネガ・ナハト

【あらすじ】

文月学園は、生徒と教師全員合わせて『女8割男2割』と言う性別による差別が激しい学校だった。この物語はわずか50人の男子生徒達が、250人の女子生徒達を相手に『痛みある戦い』を挑み、学園の革命を起こす、命を懸けた話である……。

Barrette..1

都内某所にある、文月学園に二度目の春が来た。正門には今年進級した生徒達が正門に立つスポーツマンのような男の先生に挨拶して次々と教室に向かって行った。

そんな中、一人遅刻と思われる生徒がやって来た。

「吉井、遅刻だぞ」

「あ、鉄じーじゃなくて、西村先生。おはようございます」

「今、鉄人って言わなかったか？」

「ははっ。気のせいですよ」

「ん、そうか？」

「それにしても、普通に『おはようございます』じゃないだろうが」

「あ、すいません。えーっと——今日も肌が黒いですね」

「……お前には遅刻の謝罪よりも俺の肌の方が重要なのか？」

「そっちでしたか。すいません」

「吉井、今だから言うがな」

「はい、なんですか？」

「俺はお前を去年一年見て、『よく中退しなかったな』なんて思っていたんだ」

「いやーこの学費は安いですからね。一人暮らしの僕にとってありがたいですし、辞める分けにはいきませんよ」

「そうか。だが、いかなる理由であれ、俺は全男子生徒と男性職員に『大した度胸だな』と、誉めてやりたいな。もちろん吉井、それはお前にも言える事だからな」

「そうですね。お互い、また一年間、生き延びましょうね。」

「ああ。幸運を祈るぞ」

「行ってこい吉井。……新たなる、戦場に……死ぬなよ」

「はい！西村先生も！」

吉井明久は、駆け足で教室へ向かった。

……これから先、どんな痛みが待っているかも知らずに……。

Barrette:2 (前書き)

文月学園の絶対的規則

- 一つ、男子は女子の言う事を必ず聞く
- 二つ、男子は女子に逆らってはならない
- 三つ、不純異性交友は絶対に行わない
- 四つ、召喚と装備は必ず教師の承認を得る。
- 五つ、武装戦争で戦死した場合、学園は一切の責任をとわない

Barrette..2

明久は2年生の教室がある3Fに足を踏み入れていた。彼の目の前にあったのは、通常の五倍はある広さの教室だった。

「これが噂のAクラス、か……」

明久はAクラスの教室を見ても、落ち込むだけだった。

彼は分かっていたのだ。

どのみち、Aクラス並みの学力を持つ男子生徒がいても、この教室で授業が受けられるのは、女子生徒だけなのだ。

他にもB、C、D、Eの4クラスがあったが、ランクが下になるに連れ、だんだん設備が貧相になっているのが目に見えていた。

そして、明久がたどり着いたFクラスは………

「はぁ…本当にこれ教室……?」

あからさまに、廊下からから見ても、ボロボロだった……。

「まあ、いいや。とりあえず入ろ」

ガララ

「よう、明久。ようやく来たか」

教卓の前に立っているのは、明久の親友、坂本雄二だった。

「もしかして、雄二がこのクラスの代表なの?」

「ああ。そしてこのクラスの奴等は俺の兵隊ってわけだ」

「なるほど……ねえ、雄二」

「なんだ?」

「A クラスの教室見た？」

「ああ。この教室とはえらい違いだな」

「あの教室……手に入れてみたいと思わない？」

「……何を企んでいる」

「またまたあ、分かっているくせに」

「去年と同じ、学園の革命か？」

「まあね。去年は上手くいかなかったけど、今年はなんとってアレができるようになったからね……」

「……まさか試召戦争じゃないだろうな」

「違うね。武装戦争さ」

「本気で言ってるのか……!? アレは下手をすればリアルに戦死者が出るんだぞ……!？」

「……だったら、出してやろうじゃないか。戦死者をさ……」

「そして僕らが、今度こそ学園の革命児になるのさ……!」

「……お前がそこまで言うとはな。いいだろう。後でやる自己紹介の時、この事をみんなに話してみる」

「頼んだよ、雄二」

「任せておけ」

そして、担任の福原が来て自己紹介を始めるFクラス。

最後の一人、クラス代表坂本雄二の番が来る。

「俺がF クラス代表坂本雄二だ。さて、みんなに問うが俺達男子クラスだけこんなボロボロの設備で、不満はないか？」

『『『大アリじゃあ!』』』

「だろう？俺だって、男子だからと言う理由でこんな設備で勉強するのはゴメンだ。そこで、これは代表からの提案だが……」

「Fクラスは、A クラスに試召戦争、更に武装戦争を仕掛けよう
と思う。」

雄二は、これから先起こるであろう『痛み』がどんなものかはまだ
知らなかった………

Barrette:2 (後書き)

武装戦争の内容

- ・生徒が召喚獣と同じ武装を装備して、どちらかの対戦科目の点数が0になるまで、行い続ける
- ・武装戦争の際、フィールドは校舎全体とする（屋外でもありとする）
- ・点数は自分自身のライフとなる。その為、痛みや疲労が自分自身の体にかえってくる
- ・打ち所が悪かった場合、最悪死に至る
- ・学園は、生徒が戦死した際、一切の責任はとわない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5787y/>

バカとテストと殺戮の痛み

2011年11月17日07時57分発行